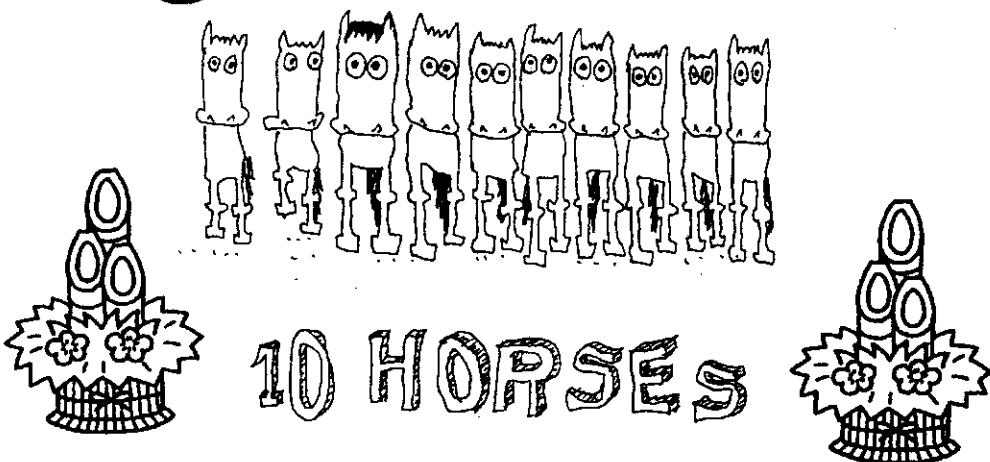


A Happy New Year !!

皆さん、21世紀の初夢は、いかがでしたか？
「自然・馬・人の会」は、今年もお正月から
元気一杯！
寒さなんか吹き飛ばして、今年も楽しく、
駆けまわりましょう！！



特集：第2回交流会！

木々の葉が赤や黄色に色づき、見事な秋晴れ！とまではいきませんでしたが、それに近い良い天氣の中で交流会が行われました。気温も十一月後半だというのに、寒気がこの会にあわせ、どこか他の場所で足踏みをしてくれていたかのように暖かく過ごしやすい一日でした。



参加者を代表して、次の三人の方から感想を寄せていただきました。

- ・田中伸幸さん（ボランティア）
- ・大沼洋子さん（ボランティア）
- ・野坂哲也さん（家族会員）

参加人数

会員

三十七名

当日受付

六十三名

ボランティア

二十七名

十一月二十六日、小春日和に恵まれた日曜日、昨年に続いて第二回目の交流会が開催されました。

会報 「土岐・運・来」 第十三号
発行 自然・馬・人の会
発行日 二〇〇一年一月十四日
ただいまの会員数 六十九家族

土岐・運・来

今月は「交流会」ということで、全部で四つの種目があります。

「変身ゲーム」では、馬上で様々なキャラクターに変身し、皆とても楽しそうに、私たちにその姿を見させてくれました。

「実りの秋」では、ミカンやブドウなどを馬に乗つたまま受け取り、木の絵の描いてある板に貼り付けました。また、「委道や剣道の得意なフルーツはなんだ?」などの、問題を出したりもしていました。(答えは下の絵を見てね)



「玉入れ」では、もつだいぶ馬になれないせいか、高いところからの玉入れも、皆なかなかの腕前を見せてくれました。

「何ができるかな」は、大きな大きなパズルでした、ダンボールでできたパズルのピースを一人一つずつ運び、「これはどこの部分だろう」と馬から身を乗り出して考えている真剣な顔を見ることができました。

また、その後の「自由乗馬」もとても人気でした、皆、自分自分で好きな馬のところへ行き、馬とのふれあいを楽しんでいました。さて、いつたいどの馬が一番人気があつたのでしょうか。

お昼は、会員の人、ボランティアの人も皆で自己紹介をしたり、おしゃべりをしたりお弁当を交換したりしました。またその後も紙芝居や馬〇×クイズなどを行い、とても楽しい一日を過ごすことができたと思います。

私自身も、皆さんの温かい心や、美味しい料理をいただき、充実した一日を過ごさせていただきました。本当にありがとうございました。

(田中伸幸)



HORSE & HORSE

「うううー、寒い!」

そんな言葉が思わず第一声になつた十一月二十六日。寒さの苦手な私なのに、仕事の日の朝とは大違ひ。ぱっと起きて、

早朝からお弁当を作なんと言つても今日は交流会・乗馬会全体、

まだ二回目の私にとって、交流会はもはらん初めて。どんなものかもよく分からぬまま、一人わくわくしていました。

天気予報では雨が曇りか……といわれていましたが、この日はとってもいい天気。「やっぱり私は晴れ女?」なんて、一人心の中で思ひながら、いつもの広場へ。いつもと違うのは、何やら運動会の様な雰囲気。それだけで心は躍る! もうこの時点から、私はやる気満々でした。そして、交流会に参加するにあたって、期待していたこと。それは、乗馬会と一緒に楽しんでいる方たちと、いつもとはまた違つた関わりをもつて、仲良くなりたいなあ、ということでした。

日中になると、気温が上がり、風もなくボカボカ陽気。ゲーム中、私はサイドについていました。前日もお仕事をしてきて、ややお

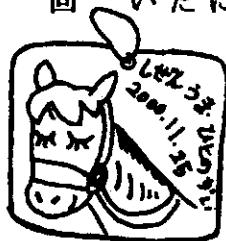


疲れ気味のミルキーをよく撫でて励まし、また、馬に乗っている子たちにも、たくさん話している私がいて、自分でもびっくり。

ゲームの合間に、前回の乗馬会でも一緒にいた、あきちゃんのお相手をして

鬼ごっこ（いや、私が遊んでわらっていたのかも）。なんだか、やっと乗馬会の雰囲気になじんできていることが嬉しく、みんなと一緒にをするのが楽しく、そして程よく疲れ

て・・・の三拍子で、日頃のストレスも吹っ飛んでいいてしまいました。もちろん、ボランティアの方々とも、仲良くなれました。



第十三号 来土岐・運来

お弁当の時間も、皆さんの作った美味しいお弁当や手作りのお菓子、果物など、たくさんいただき、自分の作つたお弁当になかなか手が伸びないうちに、満腹満足。そしてそして「ぐるんばのようちえん」は、とっても懐かしくて、気持ちちは幼稚園児に戻つて、聞き入つていました。こんな気持ちを思い起させてくれるのも、やっぱりこの乗馬会ならでは。本当に、子供たちだけでなく、参加した

人みんなが楽しめたのではないかと思います。準備をされた運営委員の方々、本当にお疲れさまでした。来年は・・・そこには手伝え・・・かな?頼もしボランティアの一人になれているといいなと思います。

(大沼洋子)



た様なので、もつと皆さんも乗馬を楽しめばいいのになあと感じました。

あと競技の進行の点で、何となく始まり、何となく次に進んでいくような感じがしたので、もう一工夫、例えば、最初にチーム分けをした時点で自己紹介をしたりして、全体に一体感みたいなものが生まれれば、もつとよかつたと思います。

それから、昼食会はGOODでした。それぞれ自慢の料理やお菓子、なつかしの駄菓子、果物で心も胃袋も満腹になりました。

今度はぜひ、サドルバックの明(めい)ちゃんと乗りに行きたくと思っています。

(野坂哲也)

◆◆◆ おしゃれ ◆◆◆

今回、三名の方に、「感想を寄せて頂きました。貴重な意見、楽しい」「感想をありがとうございました。

今後、日頃の乗馬会も、より充実した内容にするため、参加者の方々の、生の声を積極的に紹介して行きたいと思つております。自薦、他薦を問わず、是非、お声をお掛け下さい。

また、こちらからもお声をかけさせて頂く事もあると思います。その時は、よろしくお願ひ致します。

されている方が、あまりいらっしゃなかつ

「協力、ありがとうございました！」

「自然・馬・人の会」の半持ち馬である、明（めい）ちゃんのために、たくさんのお支付をありがとうございます。

十一号でお知らせしたあとに、寄付をして頂いた方々は次のとおりです。（敬称は略させて頂きます）

青木正、泉一宏、上野咲子、大竹美智子、大

久保寺強、小林敦、鈴木淳子、瀬戸恵、滝井昌典、滝

野木康雄、小川由野、川崎浩子、木村恭子、

種岡佳子、高橋良介、田岸孝一、田中伸幸、

野坂恵、福島高男・雅代、細川栄一、宮原卓、

森川祐羽、柳川重子、渡辺明彦

十三号 来・運・岐・土



本当に、ありがとうございました。

サドルバッソの明（めい）ちゃんの調教も吉川さんのおかげで着々と進んでいるようですね。

今後、明（めい）ちゃんの特集も計画中！お楽しみにネ！

乗馬会から

十月八日の乗馬会から

参加人数

会員

四十二名

当日受付

四十九名

ボランティア

三十七名

久しぶりに乗馬会に参加したと思うと、実際に七ヶ月ぶりでした。毎回乗馬会の二、三日前に中村さんから「ボランティアが足りなくて困っているのだけど来られませんか？」と言われているのだけれど「ごめんなさい、行けません」と繰り返していたのでした。

まずは会場設営の作業。馬場や受付を設置します。そういうしているうちに馬運車が到着、馬装をし、ボランティア講習へと朝の慌しい時間は過ぎていきました。

そして、乗馬会が始まり、私は受付を担当していました。サイドウォーカーではなく何故受付を担当していたのか？ 実は私は動物

アレルギーを持っています。つまり、馬の毛などが直接肌に触れる、赤い湿疹状のものが痒みを伴つて出来るのです。ゆえに長時間馬のそばにいることが出来無いためにサイドウォーカーをしていないのです。（尚、石灰と水で洗うとその症状はあつけないほど簡単に収まるのですが……）

そういうわけでサイドウォーカーの出来無い私は昼食準備の手伝いをしたり、当日乗りの所と受付の連絡係に走り回っていました。

午後からは当日乗りのサイドウォーカーを



少し手伝つてみたのですが、例のアレルギー

の為に直ぐにリタイアをしてしまいました。

久しぶりに参加するとボランティアに来て
くださる方や騎乗者の方の名前と顔が一致せ
ず、他の方が親しげに会話しているのを横目
で見では「もう少しマメに参加しないといけ
ないな」って思つて、いたりしました。

ところで、私は普段運営委員としてインタ
ーネットのHPの作成管理や会報の編集を担
当しています。乗馬会で馬に関わる事だけが
ではありません。「自然・馬・人の会」のボランティアの仕事
ではあります。絵本の読み聞かせを通して
接している方もいますし、昼食を作ることで
関わっている方もいます。私みたいに馬に触
れないのに参加している奴もいます。なんでも
良いので、あなたの特技を生かして私達の
活動に関わってみませんか?

(コンドウ)

十一月十日の乗馬会から

参加人数

会員

三十六名

当日受付
ボランティア

三十九名
二十六名

馬達はすっかり冬毛のふわふわしたかわ
いい姿になつていきました。こんな季節に途中
にわか雨が降りましたが、虹が出て馬に乗つ
ている子供と空をながめることもありました。

参加するたびに子供達の成長に気付かさ
れることばかりです。Y君は、今までおへそ
の前で手綱を保持しておくことができん
でした。手綱の位置がわかりやすいようにテ
ープを印にして位置を覚えてもらつたりして
いました。でも今回は何も言わなくてもしつ
かり良い位置に持つて、いらされました。

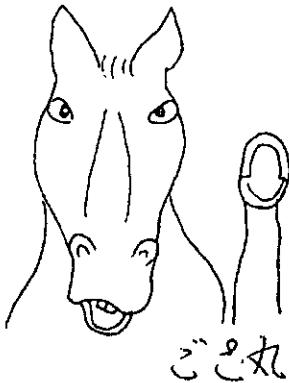
一ヶ月に一回たつた十数分の練習で着々
とできるようになつていて、「とにかくし
ました。私は「Y君、説明を理解しにくいの
かな?」と思つてしまつたが、しっかりと達
しています。実はすごい集中力で馬に乗つて
いたのですね。

来年も新しい発見を楽しみに参加してい
きたいと思います。

(木下ゴマ)

◆◆◆ 次回乗馬会のお知らせ ◆◆◆
(一月の乗馬会はお休みです)

三月十一日(日)



十三号 第十三号



掛川だより



むかごをつまみにスキも飾つて月見の宴。
今度の休みは桜井一家が来てくれるって。樂
しみ。

——いつも乗馬会の中心で活躍してくれ
ていた、みんなの「まよべえ」からお便りが
とどきましたので、紹介します。

県道を、ちょっとそれると静かな田んぼの
風景が広がる。あそこ、高く赤く実った
柿が垣根からとびだしている家。ぐるっとま
わってみると、「いたーいたー」

「いらっしゃい」とは、「うーん」とかで

見た顔、「あー、あくちやんとまよべえだー」

ふたりとも、ちょっと前までは「自然・馬・
人の会」で馬を引いていたんだ。

家の目の前から蒸煙が段々に連なり、庭で
は、大根切り干しが、遠州のカラツ風に吹か
れている。ゆきねはあちゃんは小豆をたたい
て干すのに大忙し。古い家の戸をカラガラツ。
玄関は十間の名残りに木の上がり奥。昔でい
う田の字造りの部屋は四方戸。奥の床の間を
治療室にして、ふくちやんがはり、きゅう、
指圧を施している。なんだか不思議な空間。

この夏には大勢の馬の会のメンバーが押し
かけて来てくれたよ。近くの手振りのトンネ
ルまで散歩にいつたり、何人かは泊まつて、
この庭でとれた西瓜と花火で盛り上がつた。
祭りの秋には、ボランティアのきつちやん、
ゴマちゃん、淳司君、りん、らん、etc...
みんなで、こんにゃく作りに挑戦。近所
の弘子さんが講師。夜は、そこで探つて来た

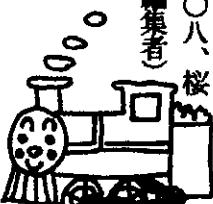
小田原から電車で2時間。ちょっと離れち
やつたけど、「自然・馬・人の会」のなごみの
家になりたいです。ぜひ一度、ゆっくりしに
いらして下さいな。冬は長火鉢を出してお待
ちしております。

「あれ? まよべえは?」「自転車で山にじ
いの実探しにいらっしゃった...」

(まよべえ)

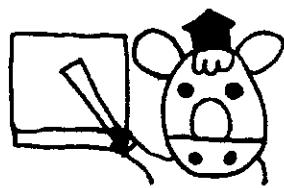


※私も先日、家族で遊びに行ってきました。
東名掛川ICから車で約五分 J-R掛川駅か
ら車で十分くらいの便利なところです。周囲
は自然の宝庫で、久しぶりにまよべえに会え
たこともあって、「ご飯を食べるのも忘れて遊
ひまわつていきました。まよべえの連絡先は、
運営委員(0465-331-1308、桜
井)までお問い合わせください。(編集者)



第9回「馬と健康社会」研究会レポート（1）

8月20日日曜日、東大農学部において「馬と健康社会」研究会が開かれました。今回は「障害者乗馬—その基礎研究と実際」というテーマで7つの研究発表がありました。その発表の内容を簡単に御報告させていただきます。



1. 海外見聞—スイス・バーゼル市における障害者乗馬

今井亨（わらしへ園）

バーゼル市の乗馬センターを視察して、そこで得られた情報を報告して下さいました。

この乗馬センターでは、主に中枢性運動麻痺（多発性硬化症や脳性麻痺）のある方にHippotherapy-k（以後、HTKと略す）が行われています。HTKというのは、神経学的リハビリテーションの分野で医療的、治療的に用いられる乗馬であり、卒後訓練を終了した理学療法士の処方に基づいて行われます。この乗馬運動は、筋のリラクゼーションおよびバランスの向上を患者にもたらします。スイスではこの療法は保険の適応になっています。

HTKは馬の歩行によって騎乗者にもたらされる動きを利用した理学療法なので、患者は馬に対し何の働きかけもしません。つまり、馬の背に楽な姿勢でまたがって、両下肢は縛（あぶみ）にかけずにぶらぶらして騎乗するのです。馬はやわらかい地面の上でゆっくりとした歩行運動のみを行います。ほとんどがアイスランド馬で、体高は130～140cmです。そして、よく調教された気性的いい馬で、動きのパターンがスムーズで対象的なものが選ばれます。

HTKの効果に関するスイスでの研究の報告もありました。この療法により、痙性（けいせい：*注）やバランスについての検査でプラスの効果が立証されています。そして、精神面での良好な効果についても述べられていました。

*注：「痙性（けいせい）」筋肉の異常な緊張や不随意的収縮（自分の意思に反して動いてしまうこと）

2. 私たちの障害者乗馬活動

田谷充

（ヤマハリゾートつま恋乗馬俱楽部）

つま恋乗馬俱楽部では、今年2月から3年計画でドイツのバドバーゲンにスタッフを派遣して、障害者乗馬のトレーニング技術の習得を目的に研修を行っているそうです。その研修内容の報告と、バドバーゲンでの障害者乗馬の様子をビデオで紹介してくださいました。

研修先は、アンドレア・ルブケさんという方の個人の施設です。1回1500円のレッスン料で養護学校の生徒や精神疾患のある方たちのレッスンを行っています。ビデオは、子供たちの発表会の様子でした。発表会は馬と一緒に学芸会といった感じで、劇の中に馬に乗った子供が登場します。そして、馬の周りには車椅子に乗った子供たちがいて、色とりどりのポールや大きなビニールシートなどがあり、馬が嫌がるであろう状況の中で行われていました。しかし、馬は驚いたり暴れたりする様子は全くありません。障害者乗馬用の馬はルブケさんが調教されています。よく調教された馬ほど子供の満足感を得られるし、インストラクター自身も子供を満足させるノウハウが増えると言われていました。つま恋乗馬俱楽部では、障害者乗馬用の馬を購入してルブケさんの元で調教しており、トレーニングが終了したら日本に連れてくることになっているそうです。

現在、「自然・馬・人の会」では、関連他団体との積極的な交流を目指しています。このレポートは「馬と健康社会」の研究発表会に参加された、斎藤佳世子さんより寄せて頂きました。ボリュームがありますので、3回にわけてお届けします。

また、この様な活動の様子も、今後、誌上でお知らせいたします。

自然・馬・人の会つて?

こんな会です

☆乗馬会

・毎月一回

小田原城址公園内歴史資料館東側にて

・事前受付・個人プログラムに合わせ仲間と

共に継続して乗馬を楽しめます。

・騎乗料……一、〇〇〇円

・・・・・当日受付・乗馬が初めての方でも体験できるコーナー。

2周引き馬料……五〇〇円

☆会の馬(半持ち馬)に格安で乗馬できます。

会員・ボランティア会員の方は二、〇〇〇円で、高校生以下のボランティア会員の方

は無料! (サドルバックにて)

・・・・・円で、高校生以下のボランティア会員の方

は無料! (サドルバックにて)

- ☆運営委員会…会員の中より自主参加。
役割分担をして会の運営にあたります。
- ☆ボランティア会員…年会費なし
都合がよい日に申し込んで下さい。
- 会報…乗馬会日程をお届けします。
- 仕事内容…馬を引く、馬に乗る人のサポート、受付、食事作り、テント設営など。
- ☆協賛会員…この会を経済的に応援して頂いています。
- 協賛金…二、〇〇〇円(会の運営費、馬具の購入などに使わさせて頂きます)

小田原で、もっと身近にもっと楽しく自然と馬とがふれあい集えるように、広く仲間を募集しています。一緒に楽しみませんか?

☆お問い合わせ

〒二五〇・〇〇四五

小田原市城山一・三・二二

自然・馬・人の会代表 桜井 広利

T E L ○四六五・三二一・一三〇八

F A X ○四六五・三二一・一三三二

☆年会費・協賛金などの振込先

便振替口座〇〇二七〇・四・七九九四四

「自然・馬・人の会」 桜井広利

□

会報(年四回)・乗馬会日程(毎回)

をお届けします。

□ ご家族体験乗馬券を差し上げます。

メンバー・資金構成

この会を運営・進行していく為に月一回程度、話し合いを持ちます。

☆運営委員会

この会を運営・進行していく為に月一回程度、話し合いを持ちます。

☆会の馬(半持ち馬)に格安で乗馬できます。

会員・ボランティア会員の方は二、〇〇〇円で、高校生以下のボランティア会員の方

は無料! (サドルバックにて)

・・・・・円で、高校生以下のボランティア会員の方

は無料! (サドルバックにて)